

フィールドワークきほんのき



8月21日(水) 2・3校時はフィールドワークを行います。フィールドワーク(FW)は遠足ではなく、学修・研究です。「フィールド(現場・地域)」にご協力をいただきながら、自分の目で現状を見つめ、自分の足で課題を探究する「ワーク(作業)」です。また、街中をうろろしていれば、住民や観光客に、何をしているのだろうか?と不思議に思われることもあります。もしも何をしているのか質問された時には、自分が誰で、今ここで何をしているのかを説明してください。地域の方々との出会いは、新たな学びのきっかけにもなります。

■ フィールドワークとは?

人文社会学系から自然科学系まで、様々な学問分野で導入されており、形式もひとつではありません。今回のように単発のものから、何度も現場を訪れ、長期的に関わっていくものまで様々です。なぜFWを行うのか?とえば、自分の目や耳を使って調べ上げていく「第一次情報」、つまりはそこに行かなければ得られない、最新の情報や経験を自分のものにするためです。

■ 「地域の課題 I」フィールドワークの目的

この講義では、仮説検証や裏付けの確認などを目的にFWを行います。詳しい内容は、8月20日(火)の講義の中で、チームごとにFWの調査計画書を作成します。当日は計画書に沿って行動することになります。

■ フィールドワークによって得られるデータ

FWによって得られるデータ(情報)には次の2種類があります。

- ① **質的データ** インタビューや雑誌、新聞、映像等による文字情報や非言語情報が中心のデータ
- ② **量的データ** 質問紙(アンケート)や統計資料によって得られる数値情報が中心のデータ

こうした情報を得るためには参与観察やインタビュー、質問紙調査などの技法があり、また情報を整理するための技法としてSWOT分析やKJ法、データコーディングなどの技法があります。大人数で、情報を整理しながら共有する方法として、ワークショップやワールドカフェなど、いくつかの技法が用いられます。

■ 「地域の課題 I」フィールドワークでのオススメの持ち物

この講義で初めてFWをする方もいるかもしれません。スムーズに行うために、オススメの持ち物を紹介します。

- ・ 調査計画書…行き当たりばつりの行動はFWではありません。チームで調査計画書を共有して、必要な調査を分担し、協力して、効率よく実施しましょう。
- ・ 質問紙(記録紙)…インタビューやアンケートの回答や観察した結果を記録します。
- ・ カメラ…景観を撮影するだけでなく、看板や案内板などを撮影することで必要な情報を記録できます。
※なお、撮影の際に通行人や店舗等が写り込む場合にはプライバシーに十分に注意してください。
- ・ クリップボード(バインダー、用箋ばさみ)…歩きながらメモを取る時に便利です。
- ・ 筆記用具…複数色のペンや蛍光ペンなどを用意すると、情報ごとに分けて記録することができます。
- ・ フィールド地図…複数枚用意することで、必要な情報を分けて記入することができます。

その他、天候にあわせて帽子や靴、日傘、飲み物等、服装や持ち物を自分で考えて持参してください。

■ フィールドワークを行うための約束事

今回の FW をスムーズに行うために、以下のことを必ず守ってください。

1. 地域の方に尋ねられたら・・・

まずは自己紹介をして、何の目的で何をしているかを自分で説明しましょう。

例「〇〇大学・短大・高専の学生です。地域の課題 I という講義の一環でフィールドワークをしています。

クリスマスロード商店街がテーマなので、〇〇や〇〇などに注目して調べています。」

2. 地域の方に声を掛ける時には・・・

通行人や観光客、店舗の経営者等にインタビューやアンケートが必要な場合には、必ず調査計画書に記入して、教員の許可を得てから実施してください。また、目的に沿って質問項目を絞り込み、質問時間をなるべく短くするよう準備をしてから臨みましょう。なお、店舗での営業等の業務を妨げることはないよう十分に配慮してください。また、想定していないことを質問された場合には、適当な返事をせず「それについては教員に確認してからご連絡します。」と丁寧に受け答えをするようにしましょう。

※インタビューやアンケートを行うための「道路使用許可証」は仙台中央警察署より取得済です。

3. 歩きやすい服装・歩きやすい靴で

今回は3～4時間程度まちを歩くので、ハイヒールやサンダルではなく、疲れにくいスニーカーなどがおすすめです。また、FW 中にしゃがんだりするかもしれません。極端なミニスカートやローライズのパンツは避けましょう。

4. ひとりでなく、必ず二人以上で行動する

普段の観光や散歩ではなく、講義の一環で実施していることを忘れずに、FW 中は最低でも二人一組で行動してください。また FW 中に事件や事故が無いとは限りません。万が一事件や事故に巻き込まれた場合には、落ち着いて周囲に助けを呼び、可能な限り教員の緊急連絡先に電話をしてください。

5. 交通マナーに注意！

一般道を歩くので、広がると他の方の通行に支障がでます。横断歩道以外での横断は危険です。チーム全員で歩く場合は、歩道全体に広がらないよう気を付けてください。また道の途中で立ち止まる時は、全員が話を聞けるようにコンパクトにまとまりましょう。

6. 休憩や水分補給はこまめに！それでも具合が悪くなった時には教員に連絡を！

自動販売機やコンビニエンスストア、公共施設などを利用し、途中で休憩や水分を取りましょう。万が一、具合が悪くなった時は無理をせず、すみやかに教員の緊急連絡先に電話をして伝えてください。

7. 時間厳守！欠席の際は必ず連絡を！

集合時間に遅れると、他の参加者やチームメンバーに迷惑がかかります。時間に余裕をもって行動し、必ず時間を守りましょう。また、事前連絡なしで休むとチームメンバーにも大きな支障が出ます。前日または当日でも欠席が分かった時点でメール（jimu@miyagi-coc.jp）で連絡してください。

.....
【不明点等の問合せ先】地域協働教育推進機構

E-mail jimu@miyagi-coc.jp 電話 022-264-6328 (平日 9時から 17時まで)

WEB サイト <https://miyagi-coc.jp/>